

免許をとった私の笑顔がふえた

~いつまでも楽しく運転するために「安全運転」の励行を~

初心ドライバーによる交通死亡事故の事例Part II

若年ドライバーが亡くなる死亡事故の発生!

事例①

発生日時 平成31年2月24日(日)午後10時20分ころ 天候:晴

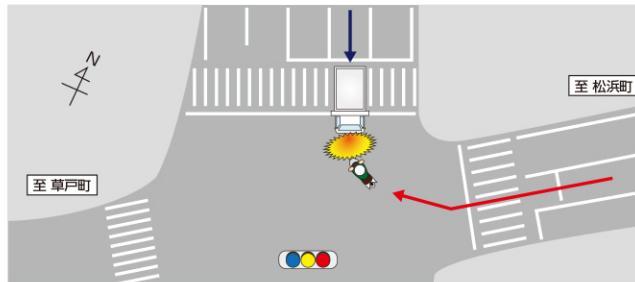
発生場所 福山市の県道

道路状況 交差点 直線 平坦 路面乾燥

関係者 普通二輪(10歳代) × 中型貨物(30歳代)

事故概要 信号交差点において、南進中の中型貨物と西進中の普通二輪が衝突し、普通二輪の運転者が死亡したもの。

略図



二輪を運転するときは

- ヘルメットはあごひもを確実に締め、体の露出が少なくなるような服装・プロテクターを装着しましょう。
- 交差点を通行するときは安全確認を十分行うとともに、常に慎重な運転を心がけましょう。

二輪ドライバーが亡くなる交通死亡事故の発生!

事例②

発生日時 平成31年3月25日(月)午前0時5分ころ 天候:曇

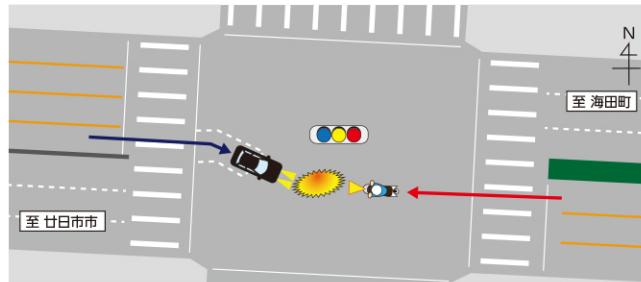
発生場所 広島市南区の国道

道路状況 交差点 直線 平坦 路面乾燥

関係者 タクシー(40歳代) × 大型自動二輪車(20歳代)

事故概要 交差点において、右折中のタクシーと対向を直進中の大型自動二輪車が衝突し、大型自動二輪車の運転者が死亡したものです。

略図



交差点を進行するときは

- 対向車がいても「自分の方が先に行ける」という思い込みが判断を誤らせます。速度を控え、対向車の不意な動きにも対応できるようにしましょう。
- 夜間は視界も悪くなるため、より慎重な運転に努めましょう。

二輪ドライバーが亡くなる交通死亡事故の発生!

事例③

発生日時 平成31年4月9日(火)午前6時15分ころ 天候:晴

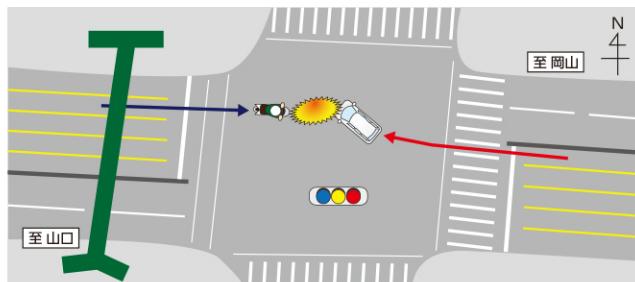
発生場所 広島市南区の国道

道路状況 交差点 直線 平坦 路面乾燥

関係者 軽四貨物車(60歳代) × 軽二輪車(20歳代)

事故概要 信号機のある交差点において、右折中の軽四貨物車と対向直進中の軽二輪車が衝突し、軽二輪車の運転者が死亡したものです。

略図



二輪を運転する方へ

- 手軽な乗り物であると気を許さないで、速度を控えて常に慎重な運転を心がけましょう。
- 交差点で対向車がある場合、対向車の不意な動きにも対応できるよう速度を控え、緊張感を持ちましょう。

若年ドライバーによる死亡事故の発生!

事例④

発生日時 令和元年7月8日(月)午後11時55分ころ 天候:雨

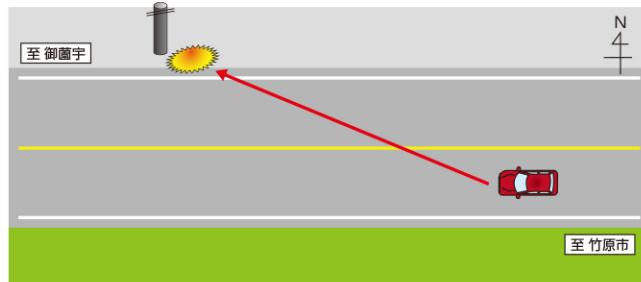
発生場所 東広島市の国道

道路状況 単路 平坦 路面湿潤

関係者 普通乗用車(20歳代)

事故概要 進行中の普通乗用車が対向車線にはみ出し、道路右側の電柱に衝突し、運転者が死亡したものです。

略図



事故を起こさないために

- 雨の日は速度を落とし、慎重に運転しましょう。急発進・急ハンドル・急ブレーキは、事故の原因になります。
- 長距離運転等で疲労が蓄積されると「見落としが増える」など運転に悪影響を及ぼします。運転中に不調を感じたら休憩をとりましょう。

※略図はイメージであり、実際の道路形状や事故状況とは異なる場合があります。

交通事故は自分でなく、相手側の人生をも変えてしまう重大な結果を招く

シートベルトの正しい着用

- シートベルトの必要性と効果を理解し、正しい着用を習慣付けましょう。
- ハンドルを手にしたら、しっかりと前方を見て脇見運転や片手運転は避けましょう。適度な緊張感を持って運転に集中しましょう。
- 自分の運転技能を過信せず、スピードを抑える、危険を予測するなどにより、急ハンドル・急ブレーキなど急のつく操作が不要な運転を心がけましょう。

ゆとりを持った運転

- 急いだり焦っていると注意が散漫となります。「先を急ぐこと」を優先すると、事故を起こす可能性が高まります。
- 心を落ち着かせて、ゆとりを持った運転を心がけましょう。

交差点を通行するときは

- 交差点を通行するときは、安全確認を励行し、他の車や人の動きには十分に注意しましょう。
- 「右折車」は、対向からの「直進車」や「左折車」を優先しなければなりません。例え、右折矢印信号であっても、他車の有無や動静に注意して通行しましょう。

夜間運転と体調の管理

- 夜間は、上向きライトを活用するなど、早めに進行方向の道路状況の把握を心がけましょう。
- 運転は絶えず周囲に気を配らなければならないため「疲れ」をもたらし、注意力が低下します。また、夜間も1日の疲れなどから、注意力が低下し事故の危険につながります。あくびなど疲労のサインが現れたら、速やかに休憩をとりましょう。

ライダーの方へ

- バイクは、体で安定を保ちながら走り、停止すれば安定を失うという構造上の特性があります。転倒すれば必ず怪我をします。
- フルフェイスなどしっかりしたヘルメットやプロテクターの装着、頑丈な服装や運転に支障のない靴を着用し、身を守る準備を整えてから運転しましょう。
- バイクは、スピードが出やすく小回りが効きますが、自己の運転技術を過信していませんか。速度を控えめにして慎重に運転しましょう。



（一社）広島県指定自動車学校協会



広島県警察